



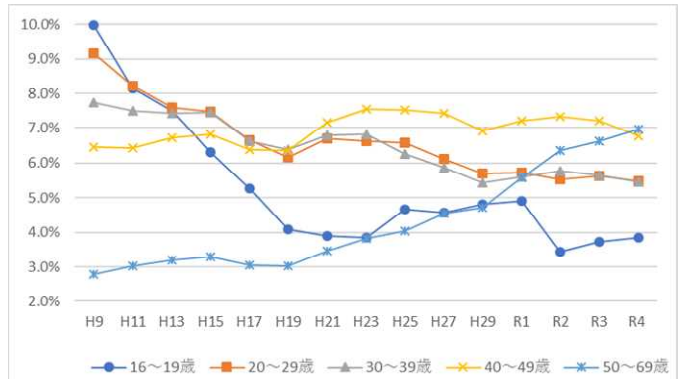
若年層への献血啓発事業のご案内

若い世代の献血の献血率の低い状態が続いており、特に令和2年度の10代の低下が著しいものとなっています。このままの状態が続くと、将来の血液が不足する可能性が危ぶまれています。

このため兵庫県では、兵庫県赤十字血液センターと共に、高校生が献血に触れあう機会を提供するため、下記の事業に取り組んでいます。

是非、ご活用ください。
どれかひとつでも可能です。
お申込・お問い合わせは裏面の担当者まで。

年代別献血率(兵庫県)

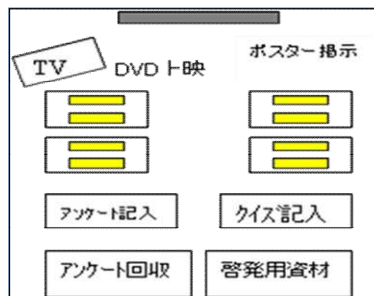


文化祭のプログラムとしておすすめです。

高校生献血推進ボランティア事業

文化祭で献血啓発コーナーを設置し、有志の高校生献血推進ボランティアが啓発活動(パネル展示、アンケート等)を行います。

- ※ ボランティアさんは少人数から可能です。
- ※ また、資材等は準備させていただきます。実施校に費用のご負担等をお願いすることはありません。



学内献血セミナー

ご希望に応じた形で開催できます。

兵庫県赤十字血液センターの職員が講師となり、献血を通じた命の大切さや助け合いの心を伝えます。

内容:「献血の基礎知識」(パワーポイント)

- ・輸血を受けられた方の声
- ・献血から医療機関に届けられるまでの工程(DVD映写)等

時間:30分～90分(ご希望に応じます)

※ 全校対象、学年対象、クラス、委員会対象など、さまざまな規模で実施可能です。



高校生献血

高校に献血バスを配車し、身近に献血を感じていただきます。

高校生献血推進ボランティアや献血セミナーで献血の必要性や命の大切さを学び、そして実際に高校生に献血を体験していただきます。

けんけつちゃん



なぜ、献血は必要なのか？

- ・ 全国で1日に約3,000人もの患者さんが輸血を受けています。
- ・ 輸血用血液製剤の用途は、80%以上が「がん」などの病気。高齢化により輸血が必要な患者は、今後増加する見込みです。
- ・ 輸血に必要な血液は人工的には造れず、長期保存もできません。

⇒ **継続的に献血による血液確保が必要。**

血液の有効期間
赤血球：28日間 血小板：4日間
血液は長期保存できない！

若年層の献血離れが進んでいます。

- ・ 献血は、16歳～69歳までの健康な方なら可能（体重などの条件あり）
- ・ 全国で年間500万人が献血（兵庫県21万人）し、現在はぎりぎり足りている。
- ・ しかし、若い世代の献血者が大幅に減少。

⇒ **このままでは将来血液が不足するおそれあり。**



献血について知らない若者たち

高校生へのアンケート（R4年度薬務課実施）によると、「献血のことを知らない」「機会がなかった」「どこでできるか分からない」が上位を占め、あわせて52%となっています。

一方で、高校時代の献血体験が、その後の献血行動の動機付けになるといった国の調査報告もあります。

⇒ **まずは、献血について知ってもらい、体験してもらうことが大切。**

献血啓発事業を実施してみませんか。

県では兵庫県赤十字血液センターと連携して、別添のとおり献血啓発事業を実施し、若年層への献血啓発に取り組んでいます。

献血は命をつなぐボランティアです。

献血を通じて命の大切さや助け合いの心を生徒に伝えることができます。

⇒ **啓発事業の実施について、是非ご検討をお願いします。**

★問合せ先★ ご相談・申込みについては、下記までお願いします。
兵庫県保健医療部薬務課薬務指導班（担当：小橋）
TEL：078-362-3268 FAX：078-362-4713